

宇宙データを見てみよう！



宇宙カレンダー

宇宙から観測したデータ(宇宙データ)をその観測日でカレンダーに並べました。1990年からデータがあります。誕生日や記念日の宇宙データを探してみましよう。
<http://www.isas.jaxa.jp/home/showcase/calendar/>

①探したい年を選びます

②探したい月を選びます



その日の宇宙の電波を音で聞くことができます

「NO DATA」データがない日もあります

③詳しく見たい日をクリックします

観測した衛星や時刻、波長等が表示されます

④カレンダーをクリックすると、大きな画像が表示されます。

⑤左のアイコンに沿ってマウスを動かすと、大きな画像が変わります。一日の間にも太陽が自転しているのがわかります。

- ### 使い方
1. 年を選びます
 2. 月を選びます
 3. 詳しく見たい日の上にマウスを置くと、観測した衛星や時刻、波長等が表示されます。
 4. カレンダーをクリックすると大きな画像のページに行きます。
 5. 大きな画像のページでは、その日に観測されたデータを見たり聞いたりできます。
 左のアイコンに沿ってマウスを動かすと、大きな画像が変わります。宇宙の電波の音がある日には、その音が再生されます。オーロラのムービーはクリックすると再生します。

この音は、「あけぼの」が観測した電波を音に変えたものです

オーロラのムービーはクリックして再生します

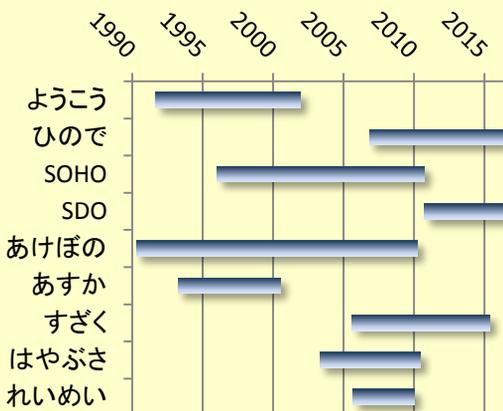
太陽のほかに、「はやぶさ」「あすか」「すざく」「れいめい」のデータがあります



インターネット環境があれば、どこからでも見ることができ、印刷もできます。

データがある期間

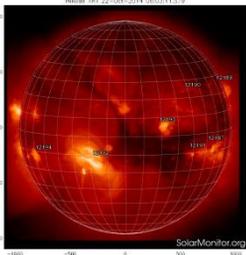
期間中でもデータがない日もあります。



宇宙データを見てみよう！

宇宙カレンダーにあるいろいろな宇宙データ

◆ 太陽



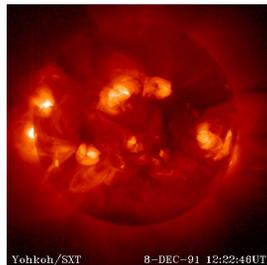
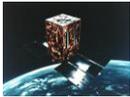
←「ひので」衛星で観測した太陽です。X線で観測したもので、太陽の外側にある「コロナ」という数百万度の大気の層をしています。



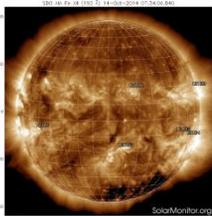
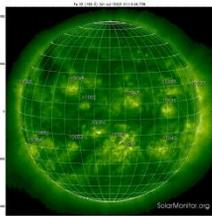
ひので

→「ようこう」衛星でX線で見た太陽コロナです。「ようこう」は「ひので」の前に活躍した衛星です。世界で初めてダイナミックに変化する太陽をとらえました。

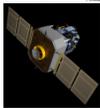
ようこう



Yohkoh/SXT 8-DEC-91 12:22:46UT



←左はSOHO観測機で、右はSDO衛星で観測した紫外線での太陽です。コロナより少し下の層の大気を見えています。



SOHO ESA/NASA



SDO NASA

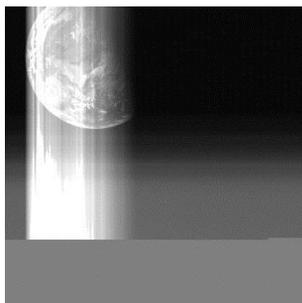
◆ はやぶさ観測画像



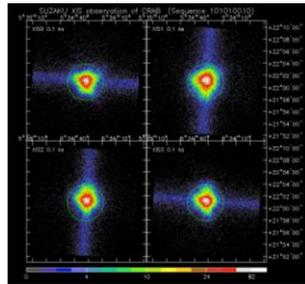
←「はやぶさ」探査機がとらえた小惑星イトカワです。これまで知られていなかった小惑星の姿を明らかにしました。

→「はやぶさ」探査機が地球に戻ってきて、大気圏に突入する直前の地球の画像です。

はやぶさ



◆ X線天体



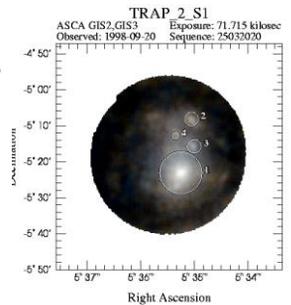
←「すざく」衛星で観測した「かに星雲」です。「かに星雲」は西暦1054年に起きた超新星の残骸で、今なお強いX線を出しています。4枚の画像はそれぞれ違う「色」のX線をとらえたものです。

すざく

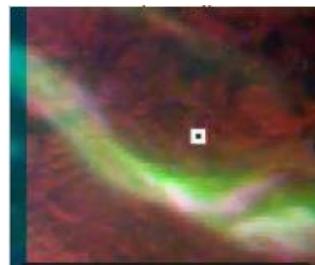


→「あすか」衛星で観測したオリオン大星雲(M42)中心部です。「あすか」は「すざく」の前に活躍した衛星です。

あすか

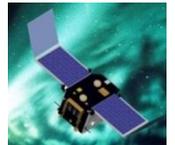


◆ オーロラ

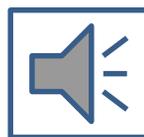


←「れいめい」衛星でとらえた地上のオーロラです。変化する様子をムービーで見ることができます。

れいめい



◆ 地球のまわりの電波



「あけぼの」衛星がとらえた地球のまわりの電波を、人に聞こえる波長の音に変換しました。地球のまわりの電波は、太陽活動やオーロラなどによって激しく変化します。



あけぼの